

日本語部

Japanese Language Ministry

2022年7月30、31日

シリーズタイトル: ヤコブの物語

今週のタイトル: いつになったら愛されるのか？

創世記29:21-35

ロブ・ペンナー 牧師

ヤコブの物語を通して、「愛」という言葉が目立ちます。一番最初に、ヤコブの母親は彼を愛していましたが、父親は双子の兄であるエサウを愛していたことが既に分かります。その後、ハランの母の実家に着いたとき、最初に見たのがラケルで、彼はすぐに彼女に心底惚れてしまいます。ヤコブの人生には、人間的な愛が存在しますが、それはえこひいきへと歪められているのです。

この部分は、ヤコブの結婚と家族、そして最悪の敵にはしたくないような義理の家族についての話です。このテキストは2部構成になっています。最初の部分(21-30節)では、ヤコブは2度結婚します。2番目部分(31-35節)では、最初の妻レアが彼に4人の息子を産みます。最初の部分は、義父ラバンがヤコブを騙して、間違った娘と結婚させます。2番目の部分では、愛されなかったレアを神が憐れみ、子宝に恵まれるという妊娠の話です。

礼拝時間

午前8時30分、10時、11時45分

詳細は下記ページをご参照ください

<https://willingdon.online.church>

教会からのお知らせ

申込先はこちらより: http://eepurl.com/dC_JaL

どちらのパートでも、登場人物たちは愛を探し求め、満たされな
いで去っていきます。えこひいきや満たされない憧れなど、人間
の愛のあらゆる歪みを通して、完全な愛の源である神がその計画
を実行に移されていることがわかります。

第1部: ラバンが欺く:ヤコブの妻たち (29:21-30)

- 詐欺は事実だが (詩篇49:5-6)、被害者は神に身を委ねます (10:4)
- ペテン師であるヤコブは、ラバンというさらに優れたペテン師に出会います。
- 私たちの不完全さ、罪、恥の物語は、全世界がみて分かるほどに白黒はつきりと書き表されています。
- 神は私たちの愛を清める過程におられます。

第2部: レアは受胎する:ヤコブの息子たち

- 神は愛されない者を愛される。
- レアの夫は彼女を愛せなかったが、レアは神が彼女の味方であることを知ります。

応用編

- 井戸: 別の井戸で彼女は愛されていない人に完全な愛を示す。
- 子: 愛されない者 (レア) から世の救い主が生まれる。

創世記29:21-35

- 21ヤコブはラバンに言った。「私の妻を下さい。約束の日々が満ちたのですから。彼女のところに入りたいのです。」
- 22そこでラバンは、その土地の人たちをみな集めて祝宴を催した。
- 23夕方になって、ラバンは娘のレアをヤコブのところに連れて行ったので、ヤコブは彼女のところにいった。
- 24ラバンはまた、娘のレアに、自分の女奴隷ジルバを彼女の女奴隷として与えた。
- 25朝になって、見ると、それはレアであった。それで彼はラバンに言った。「あなたは私に何ということをしたのですか。私はラケルのために、あなたに仕えたのではありませんか。なぜ、私をだましたのですか。」
- 26ラバンは答えた。「われわれのところでは、上の娘より先に下の娘を嫁がせるようなことはしないのだ。
- 27この婚礼の一週間を終えなさい。そうすれば、あの娘もあなたにあげよう。その代わりに、あなたはもう七年間、私に仕えなければならぬ。」
- 28そこで、ヤコブはそのようにした。すなわち、その婚礼の一週間を終えた。それでラバンは、その娘ラケルを彼に妻として与えた。
- 29ラバンは娘のラケルに、自分の女奴隷ビルハを彼女の女奴隷として与えた。
- 30ヤコブはこうして、ラケルのところにもいった。ヤコブは、レアよりもラケルを愛していた。それで、もう七年間ラバンに仕えた。
- 31 主はレアが嫌われているのを見て、彼女の胎を開かれたが、ラケルは不妊の女であった。
- 32レアは身ごもって男の子を産み、その子をルベンと名づけた。彼女が、「主は私の悩みをご覧になった。今こそ夫は私を愛するでしょう」と言ったからである。
- 33彼女は再び身ごもって男の子を産み、「主は私が嫌われているのを聞いて、この子も私に授けてくださった」と言って、その子をシメオンと名づけた。
- 34彼女はまた身ごもって男の子を産み、「今度こそ、夫は私に結びつくでしょう。私が彼に三人の子を産んだのだから」と言った。それゆえ、その子の名はレビと呼ばれた。
- 35彼女はさらに身ごもって男の子を産み、「今度は、私は主をほめたたえます」と言った。それゆえ、彼女はその子をユダと名づけた。その後、彼女は子を産まなくなった。